

1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray
- ・製品番号: MSS0014
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・用途部門 SU16 コンピュータ、電子、光学製品、電気機器の製造
- ・成分の利用/調合 フォトレジスト
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・製造者/納入者:
 Kayaku Advanced Materials
 200 Flanders Road
 Westborough, MA 01581
 Tel: (617) 965-5511
 Fax: (617) 965-5818
- ・その他の情報問い合わせ先:
 Product Safety
 Email: productsafety@kayakuAM.com
- ・緊急通報用電話番号:
 Kayaku Advanced Materials : 617-965-5511
 Chemtrec USA Emergency : 800-424-9300 (24 hr)
 Chemtrec International Emergency : 703-527-3887 (24 hr)

2 危険有害性の要約

- ・純物質または混合物の分類



火炎

可燃性/引火性エアゾール 区分1 H222-H229 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール 高压容器：熱すると破裂のおそれ



急性毒性(吸入) 区分4	H332	吸入すると有害
皮膚腐食性/刺激性 区分2	H315	皮膚刺激
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A	H319	強い眼刺激
感作性(皮膚) 区分1	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3	H336	眠気又はめまいのおそれ
水生環境有害性(急性毒性) 区分3	H402	水生生物に有害
水生環境有害性(慢性毒性) 区分3	H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

- ・ラベル要素

- ・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

(2 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(1 ページの続き)

・絵表示


GHS02 GHS07

・表示語 危険
・危険と定められた成分をラベル表示:

Epoxy resin

Sulfonium, diphenyl[4-(phenylthio)phenyl]-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate(1-) (1:1)

Sulfonium, (thiodi-4,1-phenylene) bis[diphenyl-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate (1-) (1:2)

・危険有害性情報

H222-H229 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ

H332 吸入すると有害

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

・注意書き

P211 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに毒物センター/医師に連絡すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の石鹸と水で洗うこと。

P304+P341 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: アルコール抵抗泡

P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: 火災消火パウダー

P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: CO2

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器を廃棄すること

・その他の危険性
・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

3 組成及び成分情報

・化学的特性: 混合物
・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

(3 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(2ページの続き)

・危険な含有成分:		
108-65-6	1-Methoxy-2-propanol acetate ⚠ 引火性液体 区分3, H226; ⚠ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336	50-70%
	Epoxy resin ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 感作性(皮膚) 区分1, H317	20-30%
115-10-6	ジメチルエーテル ⚠ 可燃性/引火性ガス 区分1, H220; ⚠ 高圧ガス(圧縮ガス), H280	10-25%
71449-78-0	Sulfonium, diphenyl[4-(phenylthio)phenyl]-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate(1-) (1:1) ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; ⚠ 感作性(皮膚) 区分1, H317	<1%
108-32-7	炭酸プロピレン ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2, H319	1-5%
89452-37-9	Sulfonium, (thiodi-4,1-phenylene) bis[diphenyl-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate (1-) (1:2) ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; ⚠ 感作性(皮膚) 区分1, H317	<1%

4 応急措置

・応急手当処置に関する説明

・一般情報:

中毒症状は時間がかかなり経過した後に現れる場合もあるため、事故後最低48時間は医師の監視のもとで過ごすこと

・吸い込んだ場合:

外気を送り込み、同時に人工呼吸、温める。状態がよくなる場合には医師に相談する

・皮膚が触れた場合:

即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ
凍傷の際にはたっぷりの水で洗う。衣類は脱がない

・眼に入った場合:

洗浄目すぐに大量の水や通常の生理食塩、時折、化学物質の証拠がないまで、上部と下部の目の蓋を持ち上げる(約20分)。削除する場合は、存在し、簡単にコンタクトレンズを取り外します。早急に医師の手当てを求めます。

・飲み込んだ場合: 状態が好転しない場合には医師に相談する

・医師への指示事項:

・最も重要な急性及び慢性の症状及び影響 追加的な関連情報は得られていません。

・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 対症療法を扱う。

5 火災時の措置

・消火剤

・適切な消火剤:

二酸化炭素

消火粉末

耐アルコール性泡

・安全上の理由から不適切な消火剤: 全開状態で放水

(4ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(3 ページの 続き)

- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性
容器が極度の熱にさらされるとき圧力増加によって容器は爆発するかもしれない。蒸気は、点火の源にかなりの距離を移動し、蒸気の歩道に沿って戻ってフラッシュ可能性があります。
- ・消防士向けアドバイス
- ・特別な保護装備: 酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用

6 漏出時の措置

- ・個人的予防措置、保護具及び応急処置法
防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない
十分な換気を心がける
発火源は遠ざける
- ・環境関連予防措置:
河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する
十分な換気を心がける
水もしくは液体洗剤で洗い流さない
- ・他のセクションへの言及
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
廃棄処分に関しては 13 項参照

7 取扱い及び保管上の注意

- ・取り扱い方:
- ・安全操作のための予防措置
部屋全体の換気を心がける、特に床部分の換気に注意する(蒸気は空気よりも重い
ため)
作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける
熱と直射日光から保護する
容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う
- ・火災および爆発防止に関する注意事項:
炎あるいは燃えているものには吹き付けない
発火元は遠ざける。禁煙
耐爆発性装置、計器および火花を出さない工具を使用する
静電荷を防ぐ措置をほどこす
容器は加圧された状態にある。直射日光および 50℃ 以上の温度は避ける(例: 電球など)。使用した後も無理にこじ開けたり、燃やしたりしない
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管:
- ・保管スペースおよび容器に関する要求事項:
涼しい場所に保管する
圧縮ガスバック保管に関する関係当局の規定に注意すること
- ・同じ場所に保管する際の注意事項:
アルカリ(アルカリ液)とはいっしょに保管しない
酸化、酸性成分とはいっしょに保管しない
- ・保管条件に関するその他の注意事項:
よく密閉した樽の中で涼しく乾燥した場所に保管する
熱および直射日光は避ける

(5 ページに 続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(4ページの続き)

- ・容器は換気いい場所に保管
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

8ばく露防止及び保護措置

- ・技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7項参照
- ・管理パラメーター
- ・作業場において限界値の監視を要する成分:
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・暴露管理
- ・人的保護装備:
- ・一般防止措置および衛生措置:
食物、飲み物、飼料からは遠ざける
汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ
休憩の前、作業終了後には手を洗う
眼に入らないように
眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する
- ・呼吸保護器具:
短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装備を使用すること
- ・手の保護:



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない

- ・手袋材
ブチ - ルゴム
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- ・手袋材の浸透時間
正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護:



密閉式保護めがね

9物理的及び化学的性質

- ・基本的な物理及び化学特性に関する情報
- ・一般指示事項
- ・外観
形:

エアゾール

(6ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(5 ページの続き)

色:	琥珀色
・におい:	エステルのような
・嗅覚閾値	決まっていない。
・pH-値:	決まっていない。
・状態の変化	
融点/融解範囲:	決まっていない
沸点/沸点範囲:	-24 °C
・引火点:	-42 °C
・発火性(個体、気体):	情報なし
・発火温度:	235 °C
・分解温度:	決まっていない。
・自然発火性:	プロダクトは自然発火しない
・爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない。ただし爆発する危険のある蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある
・爆発限界:	
下限:	1.5 Vol %
上限:	18.6 Vol %
・蒸気圧約 20 °C:	5200 hPa
・密度:	未定
・相対的密度	決まっていない。
・蒸気密度	決まっていない。
・気化速度	0.39 (BuAc=1)
・以下成分における消和性/との混和性	
水:	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
・分配係数 (n-オクタノール/水):	決まっていない。
・粘性:	
力学的:	決まっていない。
運動性:	決まっていない。
・他の情報	追加的な関連情報は得られていません。

10 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性 安定
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険反応の可能性
 - 過酸化物が生成せれる可能性あり
 - 発熱を伴う重合
- ・避けるべき条件
 - 熱、炎と火花。温度と直射日光の両極端。
 - 互換性のない材料との接触。
- ・不適合物質: Strong Oxidizing Agents, Strong Bases, Strong Acids, Strong Reducing Agents, Iron, Hydrazine

(7 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(6 ページの続き)

- ・危険な分解生成物:
 一酸化炭素と二酸化炭素
 刺すようなガス/蒸気
 有毒熱分解プロダクトを生成する危険あり

11 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性:

・分類上の LD/LC50 値:

108-65-6 1-Methoxy-2-propanol acetate

口	LD50	8532 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>5000 mg/kg (rat)
吸収	LC50/6 h	4345 ppm (rat)

Epoxy resin

口	LD50	>2000 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>2000 mg/kg (rabbit)
吸収	LC50	>5 mg/L (rat)

115-10-6 ジメチルエーテル

吸収	LC50 4 hr	164000 ppm (rat)
----	-----------	------------------

108-32-7 炭酸プロピレン

口	LD50	>5000 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>2000 mg/kg (rabbit)

- ・初期刺激作用:
- ・皮膚において: 皮膚と粘膜を刺激
- ・眼において: 刺激作用
- ・感作作用: 皮膚接触によって感作作用の可能性あり
- ・毒性に関する補足注意事項:
 調査に関する E U の最新の一般分類ガイドラインの計算によれば、プロダクトでは以下の危険が見込まれる
 刺激的

12 環境影響情報

- ・毒性

・水生生物に対する毒性:

89452-37-9 Sulfonium, (thiodi-4,1-phenylene) bis[diphenyl-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate (1-) (1:2)

LC50/24 h	4.4 mg/l (daphnia)
LC50/48 hr	0.68 mg/L (daphnia)

71449-78-0 Sulfonium, diphenyl[4-(phenylthio)phenyl]-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate(1-) (1:1)

LC50/24 h	4.4 mg/l (daphnia)
LC50/48 hr	0.68 mg/L (daphnia)

115-10-6 ジメチルエーテル

EC50/48 h	>4400 mg/l (daphnia magna)
-----------	----------------------------

- ・持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。

(8 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(7 ページの続き)

- ・環境システムにおける作用:
- ・生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。
- ・土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・生態毒性作用:
- ・注: 魚類に対して毒性が高い
- ・その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・一般注意事項:
 水への危険度分類1(ドイツの規定)(自己査定): 水に対する危険性はわずかにある
 薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない
 水域においては魚やプランクトンにも毒性がある
 水生生物にとり毒性が高い
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

13 廃棄上の注意

- ・廃棄物処理方法
- ・勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- ・洗浄されていないパッケージ:
- ・勧告: 関係当局の規則に従って処分する

14 輸送上の注意

・UN 番号	UN1950
・ADR, IMDG, IATA	
・国連出荷正式名	
・ADR	1950 AEROSOLS
・IMDG	AEROSOLS
・IATA	AEROSOLS, flammable
・輸送の危険性クラス	
・ADR	
	
・分類	2 5F ガス
・危険物ラベル	2.1
・IMDG, IATA	
	
・Class	2.1
・Label	2.1

(9 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(8 ページの続き)

・パッケージの分類	
・ADR, IMDG, IATA	無効
・環境危険:	
・海の汚染物質:	いいえ
・ユーザー用特別予防措置	警告: ガス
・ケムラー符号:	-
・EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:	F-D,S-U
・マルポール条約 (MARPOL73/78) 付属書II及び IBCコードに準じたバルク輸送	情報なし
・UN "模範規制:	UN1950, AEROSOLS, 2.1

15 適用法令

- ・該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律
- ・化審法

- ・既存化学物質安全性点検結果 (分解性・蓄積性)

内容成分はリストアップされていない

- ・既存化学物質安全性点検結果 (毒性)

内容成分はリストアップされていない

- ・PRTR 制度 - 第一種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

- ・PRTR 制度 - 第二種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

- ・毒物及び劇物取締法: 劇物

内容成分はリストアップされていない

- ・毒物及び劇物取締法: 毒物

内容成分はリストアップされていない

- ・毒物及び劇物取締法: 特定毒物

内容成分はリストアップされていない

- ・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

- ・絵表示



GHS02 GHS07

- ・表示語 危険

- ・危険と定められた成分をラベル表示:

Epoxy resin

Sulfonium, diphenyl[4-(phenylthio)phenyl]-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate(1-) (1:1)

Sulfonium, (thiodi-4,1-phenylene) bis[diphenyl-, (OC-6-11)-hexafluoroantimonate (1-) (1:2)

(10 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(9 ページの続き)

・危険有害性情報

- H222-H229 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール 高压容器：熱すると破裂のおそれ
 H332 吸入すると有害
 H315 皮膚刺激
 H319 強い眼刺激
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H336 眠気又はめまいのおそれ
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

・注意書き

- P211 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
 P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P301+P310 飲み込んだ場合：ただちに毒物センター/医師に連絡すること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の石鹸と水で洗うこと。
 P304+P341 吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい
 て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: アルコール抵抗泡
 P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: 火災消火パウダー
 P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: CO2
 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器を廃棄すること

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない
16 その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

・データシート作成部門: Product safety department
・問い合わせ先: Tom Cole, EHS Manager (tcole@kayakuAM)
・縮約と二文字語:

RID: Règlement international concernant le transport des marchandises dangereuses par chemin de fer (Regulations Concerning the International Transport of Dangerous Goods by Rail)
 ICAO: International Civil Aviation Organisation
 ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route (European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
 IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
 IATA: International Air Transport Association
 EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
 ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
 CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)
 LC50: Lethal concentration, 50 percent
 LD50: Lethal dose, 50 percent
 PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic
 vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative
 PRTR/化管法: 化学物質排出把握管理促進法
 可燃性/引火性ガス 区分1: Flammable gases – Category 1
 可燃性/引火性エアゾール 区分1: Aerosols – Category 1
 高压ガス(圧縮ガス): Gases under pressure – Compressed gas
 引火性液体 区分3: Flammable liquids – Category 3
 急性毒性(吸入) 区分4: Acute toxicity – Category 4

(11 ページに続く)

印刷日: 2019.09.20

改訂日: 2019.09.20

商品名: XP MicroSpray SU-8 Photoresist Spray

(10 ページの 続 き)

皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2: Serious eye damage/eye irritation – Category 2
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A
感作性(皮膚) 区分1: Skin sensitisation – Category 1
特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3
水生環境有害性(急性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 1
水生環境有害性(急性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 3
水生環境有害性(慢性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 1
水生環境有害性(慢性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 3

JP